



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東  
コード番号 6033 URL <https://www.e-xtreme.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 島田 善教 TEL 03-6673-8535  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,597	15.7	819	26.8	799	△10.0	535	△7.6
2024年3月期中間期	4,839	19.2	645	42.6	887	46.5	579	39.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 498百万円 (△25.0%) 2024年3月期中間期 663百万円 (57.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	98.31	98.25
2024年3月期中間期	105.40	105.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	8,013	5,676	66.8
2024年3月期	8,487	5,821	61.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,355百万円 2024年3月期 5,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（2024年11月13日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,650	14.0	1,500	36.7	1,600	10.4	1,080	4.4	199.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2024年11月13日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社 (社名) 株式会社E P A R Kテクノロジーズ

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	5,502,476株	2024年3月期	5,502,376株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	80,868株	2024年3月期	868株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	5,449,734株	2024年3月期中間期	5,501,508株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3 「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、円安を背景とする輸出の増加、賃金上昇率の高まりなどが景気回復の追い風となる一方、物価高を背景とする節約志向から個人消費の回復は鈍く、人手不足による供給制約なども不安材料として存在しております。また、国際情勢は不安定な状態が続いており、世界的な金融引締めに伴う為替変動の影響、継続的な物価上昇圧力に伴う世界経済の下振れリスクにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は5,597,599千円(前年同期比15.7%増)、営業利益は819,082千円(前年同期比26.8%増)、経常利益は799,193千円(前年同期比10.0%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は535,757千円(前年同期比7.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員(クリエイター&エンジニア)が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当中間連結会計期間においては、エンターテインメント業界においては、特にゲーム業界の厳しい市場環境を背景に受注獲得が苦戦する一方、非エンターテインメント市場においては、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は4,689(前年同期稼働プロジェクト数は4,367)となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,203,759千円(前年同期比8.7%増)、セグメント利益は388,808千円(前年同期比19.3%減)となりました。

#### <受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規」「保守」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co.,Ltd.、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社についても当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、企業のデジタル施策への投資拡大を背景に、引き続き受注獲得が順調に進んだ結果、開発リソースの安定的稼働が採算性の向上に寄与しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は1,550,107千円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益は404,911千円(前年同期比43.9%増)となりました。

#### <コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム開発・販売・運営のほかに、当社が保有するゲームタイトル又はキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社D r a g a m i G a m e sは当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、当社が権利保有するゲームタイトルのライセンス収益の他、株式会社D r a g a m i G a m e sにおいて発売した「LOLLIPOP CHAINSAW RePOP」のゲーム販売額も発生しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は891,304千円(前年同期比222.1%増)、セグメント利益は381,563千円(前年同期比81.5%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ① 総資産・負債・純資産の状況

## (総資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、8,013,752千円となり、前連結会計年度比473,777千円の減少(前連結会計年度比5.6%減)となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が189,629千円、ソフトウェアが46,237千円、投資有価証券が166,795千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が358,419千円、仕掛品が132,783千円、その他(流動資産)が177,499千円、関係会社株式が190,433千円、それぞれ減少したことによるものです。

## (負債)

当中間連結会計期間末における負債は、2,337,355千円となり、前連結会計年度比328,860千円の減少(前連結会計年度比12.3%減)となりました。これは主に、短期借入金が200,000千円、未払金が99,587千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、5,676,397千円となり、前連結会計年度比144,916千円の減少(前連結会計年度比2.5%減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益535,757千円の計上により利益剰余金が261,388千円増加した一方、自己株式が99,925千円増加したこと、その他有価証券評価差額金17,960千円、非支配株主持分が278,350千円減少したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ507,803千円減少し、3,024,228千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は363,524千円(前年同期は578,574千円の収入)となりました。これは、主に売上債権の増加額468,638千円及び法人税等の支払額242,616千円があったものの、税金等調整前中間純利益802,401千円などにより資金獲得したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は297,693千円(前年同期は385,332千円の収入)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入294,987千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入147,064千円があったものの、定期預金の預入による支出513,348千円及び差入保証金の差入による支出120,528千円などにより資金使用したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は527,277千円(前年同期は23,494千円の支出)となりました。これは、主に短期借入金の減少額200,000千円、配当金の支払額203,866千円及び自己株式の取得による支出99,925千円などにより資金使用したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績を鑑み、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益について上方修正しております。詳細につきましては、2024年11月13日に公表いたしました「通期業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,935,928	3,577,508
受取手形、売掛金及び契約資産	1,420,673	1,610,302
有価証券	208,906	224,958
製品	128	118
仕掛品	373,513	240,729
その他	305,285	127,786
貸倒引当金	△537	△376
流動資産合計	6,243,898	5,781,029
固定資産		
有形固定資産	84,804	75,469
無形固定資産		
ソフトウェア	70,550	116,788
ソフトウェア仮勘定	1,517	2,810
のれん	185,476	168,866
無形固定資産合計	257,543	288,464
投資その他の資産		
投資有価証券	1,357,458	1,524,253
関係会社株式	190,433	—
その他	361,919	353,062
貸倒引当金	△8,527	△8,527
投資その他の資産合計	1,901,283	1,868,789
固定資産合計	2,243,631	2,232,723
資産合計	8,487,530	8,013,752

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	850,000	650,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	23,880
未払金	1,030,921	931,334
未払法人税等	247,021	277,002
賞与引当金	155,053	165,228
その他	301,535	252,119
流動負債合計	2,623,091	2,309,564
固定負債		
社債	5,000	—
長期借入金	9,600	—
退職給付に係る負債	13,354	12,620
繰延税金負債	15,170	15,170
固定負債合計	43,124	27,790
負債合計	2,666,215	2,337,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,451	419,540
資本剰余金	413,258	413,348
利益剰余金	4,262,447	4,523,836
自己株式	△1,159	△101,084
株主資本合計	5,093,998	5,255,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,839	87,879
為替換算調整勘定	20,053	11,684
その他の包括利益累計額合計	125,892	99,563
新株予約権	20,274	18,395
非支配株主持分	581,148	302,797
純資産合計	5,821,314	5,676,397
負債純資産合計	8,487,530	8,013,752

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,839,079	5,597,599
売上原価	3,356,080	3,855,889
売上総利益	1,482,998	1,741,710
販売費及び一般管理費	837,283	922,627
営業利益	645,715	819,082
営業外収益		
受取利息	52,332	56,404
為替差益	155,959	—
助成金収入	670	—
投資有価証券売却益	30,864	—
持分法による投資利益	3,596	4,877
受益権売却益	1,256	—
その他	2,564	8,609
営業外収益合計	247,243	69,891
営業外費用		
支払利息	1,367	2,034
支払手数料	3,397	4,012
為替差損	—	83,735
その他	545	0
営業外費用合計	5,310	89,781
経常利益	887,648	799,193
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,208
特別利益合計	—	3,208
税金等調整前中間純利益	887,648	802,401
法人税等	281,167	277,905
中間純利益	606,481	524,496
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	26,621	△11,260
親会社株主に帰属する中間純利益	579,859	535,757



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	606,481	524,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,647	△17,960
為替換算調整勘定	5,697	△8,368
その他の包括利益合計	57,345	△26,328
中間包括利益	663,826	498,167
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	637,204	509,428
非支配株主に係る中間包括利益	26,621	△11,260

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	887,648	802,401
減価償却費	34,475	30,286
のれん償却額	16,609	16,609
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,979	10,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△161
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△198	△733
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△18,899
受取利息	△52,332	△56,404
支払利息	1,367	2,034
為替差損益(△は益)	△142,054	90,904
投資有価証券売却損益(△は益)	△30,864	—
持分法による投資損益(△は益)	△3,596	△4,877
売上債権の増減額(△は増加)	127,359	△468,638
棚卸資産の増減額(△は増加)	△133,326	132,183
長期未収入金の増減額(△は増加)	△6,010	—
未払金の増減額(△は減少)	42,871	9,595
その他	59,817	△62,334
小計	819,747	482,142
利息の受取額	51,152	56,234
利息の支払額	△1,351	△1,671
法人税等の還付額	—	69,436
法人税等の支払額	△290,974	△242,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	578,574	363,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,670	△513,348
定期預金の払戻による収入	588,840	294,987
保険積立金の解約による収入	—	5,380
有形固定資産の取得による支出	△27,152	△6,265
無形固定資産の取得による支出	△22,903	△54,633
投資有価証券の取得による支出	—	△63,000
投資有価証券の売却による収入	130,237	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	147,064
差入保証金の差入による支出	△12,650	△120,528
差入保証金の回収による収入	41,896	12,650
資産除去債務の履行による支出	△12,265	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	385,332	△297,693
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△14,280	△14,280
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	—	△99,925
株式の発行による収入	—	107
配当金の支払額	△164,853	△203,866
非支配株主への配当金の支払額	△39,361	△4,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,494	△527,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,053	△46,356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	986,465	△507,803
現金及び現金同等物の期首残高	2,346,793	3,532,031
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,333,258	3,024,228

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

当中間連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社E P A R Kテクノロジーは、当社の出資持分を全て譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金	3,835,650千円	3,577,508千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△680,815千円	△779,108千円
流動資産その他(預け金)	641千円	869千円
有価証券(MMF)	177,781千円	224,958千円
現金及び現金同等物	3,333,258千円	3,024,228千円

※2 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

株式の売却により連結子会社でなくなった株式会社E P A R Kテクノロジーズの連結除外時の資産及び負債の内容並びに株式の売却価額と連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入との関係は、次のとおりであります。

流動資産	645,158	千円
固定資産	120,140	
流動負債	△150,427	
非支配株主持分	△256,196	
株式売却額	358,674	
現金及び現金同等物	△211,610	
差引:連結範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入	147,064	

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,850,765	1,711,628	276,684	4,839,079	—	4,839,079
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,500	9,425	—	105,925	△105,925	—
計	2,947,266	1,721,053	276,684	4,945,004	△105,925	4,839,079
セグメント利益	481,833	281,459	210,271	973,565	△327,849	645,715

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,156,388	1,549,907	891,304	5,597,599	—	5,597,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,371	200	—	47,571	△47,571	—
計	3,203,759	1,550,107	891,304	5,645,171	△47,571	5,597,599
セグメント利益	388,808	404,911	381,563	1,175,283	△356,200	819,082

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。